

教科	芸術科				
科目	書道Ⅰ	単位数	2	単位	履修年次 1 年次～
使用教科書	書道Ⅰ（東京書籍）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育成する。 ①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。 ②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。 ③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。 ④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。
カリキュラムポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。 ①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。 ②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。 ③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。（年3回以上はクラス単位での授業を行う） ④総合的な探究の時間において、1年次から系統的なキャリア教育を展開する。

2 学習の目標

- ①書表現の多様性を理解し、書の基礎的な技能を身につける。
- ②書の美しさや伝統文化を考え、自分の意図に基づく表現を工夫する。
- ③主体的に書を鑑賞し表現するなど、書の幅広い活動に取り組む。

3 指導の重点

単に自己表現や技術の伸長を図るだけでなく、個々の芸術に対するとらえ方や考え方を深化させ、芸術と主体的に関わっていくようにする。

4 学習計画

学期	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
前期	オリエンテーション	教科書 プリント	掃除分担や係など	2	学習活動 への参加 状況や態 度 提出作品
	漢字の書の学習 書体の変遷 楷書の学習 行書の学習		漢字五書体の歴史的変遷を理解する 鑑賞と臨書 鑑賞と臨書	12	
	篆書の学習 隸書の学習		鑑賞と臨書 鑑賞と臨書	10	
	草書の学習		鑑賞と臨書	5	
	篆刻・刻字の学習 刻字作品を作る		篆刻の歴史を知り鑑賞し 自分の制作する印に 工夫を加える。	6	
	後期		刻字作品を作る	教科書 プリント	
仮名の書の学習 平仮名 変体仮名 連綿		種類と筆使いの基本 鑑賞と表現 鑑賞と表現 鑑賞と表現	12		
漢字仮名交じりの書の学習 名筆に学ぶ 用具・用材と表現		意図の応じた表現方法 書の表現と鑑賞 書の表現と鑑賞	8		
ふりかえり		自主創作活動	5		
			計		70

5 課題・提出物等

毎時間の作品提出、そのほか感想文の提出など。

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
創造的な表現をするために、基礎的な能力を生かし、書写能力を高め、用具・用材を生かして効果的に表現する技能を身につけ表している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

7 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【評価】 得点率が70パーセント以上・・・ A 得点率が40パーセント以上・・・ B 得点率が40パーセント未満・・・ C	【評価】 得点率が70パーセント以上・・・ A 得点率が40パーセント以上・・・ B 得点率が40パーセント未満・・・ C	【評価】 提出物の内容や制作態度が十分に満足できる状況と判断できる・・・A おおむね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できない・・・C

8 担当者からの一言

書道は文字を素材として美的に表現する芸術である。文字の形を正しく整えて書くことにとどまらず、毛筆の作り出す線に様々な思いを込めたり、言葉から得た感動を心に響かせて製作する楽しさや、自分の生命感が筆を伝って表現できる面白さを知って欲しい。